

各 位

株 式 会 社 北 都 銀 行

『北都ものづくりアドバイザーボード』の設置について

株式会社北都銀行（頭取 斉藤永吉）は、秋田県全体で年間5,200億円を超える付加価値を生み出している製造業の更なる躍進のために、『北都ものづくりアドバイザーボード』を設置致します

1. 目的：製造業が直面する4つの危機への対応と県内製造業の躍進

(1) 2018年版「ものづくり白書」によれば、我が国の製造業は次の4つの危機に直面していると言われています。

- ①人材の量的不足に加え質的な抜本変化に対応できていないおそれ
- ②従来「強み」と考えてきたものが、成長や変革の足かせになるおそれ
- ③経済社会のデジタル化などの大きな変革期の本質的なインパクトを経営者が認識できていないおそれ
- ④非連続的な変革が必要であることを経営者が認識できていないおそれ

(2) 弊行では、県内製造業の皆様がこれらの危機を克服して躍進を遂げられ、皆様とともに生き生きとした秋田県経済を築いて参りたいと考えております。

2. 活動内容について

(1) 製造業に携わる皆様に、弊行ならではのアドバイスと徹底した支援を次のような観点で行って参ります。

- ・自社の優れた技術を活用した成長戦略の構築と実践
 - 販路拡大（海外ネットワークも含む）とビジネスマッチング（海外企業も含む）
- ・資本政策および生産性向上（新技術の活用） など

(2) また、新技術に着目した新たな産業および産業集積創出のアイデアも、県内製造業の皆様と一緒に考えて参ります。

3. ボードメンバーについて

・弊行頭取を座長とし、日本を代表する優れた知見を各分野で培って来られかつ秋田県にゆかりのある方々を中心に、最終頁の4名の方々をボードメンバーとしてお迎え致します。

※医療およびリハビリテーションの分野で多くのロボット等を考案され、既に県内企業とともに開発を進めておられる秋田大学や、ASEAN 企業と日本企業との商流構築や両者の投資機会の拡大に注力しておられる駐日タイ大使館からも参加して頂きます

4. 設置期間

設置期間：2019年3月15日～2020年3月31日（予定）

以上

《本件に関する問い合わせ先》
営業推進部支店サポートグループ（担当：川辺）内線：3660

○「北都ものづくりアドバイザリーボード」のメンバー（敬称略）

【アドバイザー】



嵯峨 宏英（さが こうえい）

1951年2月1日生

GGプロジェクトサポート株式会社代表取締役社長
（トヨタ自動車株式会社 元専務役員）



上釜 健宏（かみがま たけひろ）

1958年1月12日生

TDK株式会社ミッションエグゼクティブ
（同社 元代表取締役会長）



島田 洋一（しまだ よういち）

1955年9月26日生

秋田大学学長補佐

秋田大学産学連携推進機構医理工連携部門長

秋田大学大学院医学系研究科医学専攻機能展開医学系整形外科学講座教授



Mr. Baworn SATTAYAWUTHIPHONG (バウオン・サッタウティポン)

1973年2月26日生

Minister-Counsellor（公使参事官）

タイ王国大使館 工業部

（氏は、これまでも度々秋田に訪問されており、秋田県とタイ王国との関係は、氏が初めて来県された2013年以降、急速に深まっています。）

【座長】



斉藤 永吉（さいとう えいきち）

1950年4月2日生

北都銀行 代表取締役頭取